

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

事業年度評価（令和5年度）

資料4

	病院自己評価	県評価(案)
S評価	3	2
A評価	8	9
B評価	11	11
C評価	2	2
D評価	0	0
計	24	24

＜病院の自己評価＞

S	年度計画を大幅に上回って実施している。(特に優れた実績)
A	年度計画を上回って実施している。
B	概ね年度計画どおり実施している。(達成度が概ね9割以上)
C	年度計画を十分に実施していない。(達成度が概ね6割以上9割未満)
D	年度計画を大幅に下回っている。(達成度が6割未満)

＜県の評価(評価委員会の検証)＞

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる。
B	中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる。
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている。
D	中期目標の達成のためには重大な改善事項がある。

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	県評価（案）の理由	項目 別の ページ
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置											
1 診療事業											
(1) 良質かつ適切な医療の提供	A	A	A	A	A	A	A	⑤コメディカルの専門性を生かしたチーム医療の充実、クリティカルパス活用は素晴らしい。 ⑥転倒転落件数が増加している要因は理解できました。今後、転倒転落件数の減少に向け検討された対策をしっかりと実施していただきたいと思います。	A		10
(2) 患者の視点に立った医療の提供	A	A	A	A	A	A	A	②患者相談室の相談件数は、R4・R3・R2よりも大きく減少している。 ⑤医療サービスの向上を図るため、意見・苦情対応手順書や患者等の声運用マニュアルを策定し共有したことは評価できる。今後はカスタマーハラスメントについてのマニュアルの整備も検討されたい。	A		12
(3) 救急医療の強化	A	A	A	B	A	B	A	①救急受け入れ率は低下しているが、受け入れ件数は上昇（地域における高齢化、救急車出動が多くなっている。） ②救急搬送患者受入件数は、年々順調に増加しているが、救急搬送受入率は目標値に達しておらず、R3・R2よりも大きく低下している。母数の救急要請数が大きく増加したことが原因と考えられ、目標値の設定に問題があると思われる。 ③受入件数は、十分なものがあるが、中期計画の数値設定が受入率であるため。 ④受入件数を大きく伸ばしており、病院として受入に尽力されていることが伝わります。要請件数の伸びについて原因を明確にし、目標設定の際の参考にしていただきたい。 ⑤救急患者受入数は大幅に増えているが、受け入れ率が下がっているのは救急患者が増加しているということか。それとも他の救急医療施設が足りないのか。	A		13

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

事業年度評価（令和5年度）

大項目	中項目	小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	県評価（案）の理由	項目 別の ページ
	(4)	がん医療の高度化	C	C	C	C	C	C	C	①専門性特化しているため、すべての科での高度化は現在困難と考える。 ②がん入院患者延数、リニアック治療件数、PET-CT検査件数、外来化学療法延件数の全てが目標値を下回っており、しかもR4よりも悪化しているため、C評価もやむを得ない。 ③一番悩んだ項目である。単純な数値比較では、別の評価もありうるが、委員会における説明や中期目標との兼ね合いから評価した。 ④令和5年度については特殊な事情もあったので、令和6年度については評価が改善されるよう努めていただきたい。 ⑤目標数値に比べ、実績数値がかなり低かった要因は何か？	C		13
	(5)	産科医療や小児医療の充実	S	C	A	A	S	A	A	①産科は吉野川北岸中心で良好。小児救急体制は低下している。 ②吉野川北岸の分娩を一手に引き受け、無痛分娩を積極的に行うなど評価できる。しかし分娩数はR3から減少を続け、小児救急患者受入数が激減するなど、とてもS評価はできない。 ③R5.4から日曜の小児救急体制を縮小しており、何故に自己評価がSか少し理解できない。少なくとも中期目標の達成に向けて特筆すべき状況ではない。 ④産後ケア事業の広報に努め、利用者の拡大を図っていただきたい。 ⑤分娩できる医療機関が減っている中で県内で数少ない無痛分娩を実施する医療機関として医療体制を確保しているのは、大変素晴らしいことだと思う。ただ、小児救急が縮小しているのは残念。 ⑥東部圏域における小児・周産期医療の中核的な役割を果たされていることはそのとおりだと思いますが、分娩数その他のデータを見て、年度計画を大幅に上回って実施できている評価にはなっていないと考える。	A	鳴門市唯一の分娩施設として、無痛分娩を始め、産科において積極的に取り組んでいることは評価できるが、分娩数の減少や小児救急において診療体制の縮小を行っていることから、『A評価』とした。	15
	(6)	特色ある医療の更なる推進	A	A	A	A	A	A	A	②脊椎脊髄手術件数は、目標値に達しておらず、しかもR1より連続的に減少を続けている。 ⑤手の外科手術の実績、及びリハビリテーション部門の実績は高く評価したい。	A		15
	(7)	地域住民の健康維持への貢献	A	A	A	A	A	A	A	②透析治療件数は、目標値を下回っており、R3～R1と比較すると大きく減少している。 ⑤積極的な広報やPR活動の取組により、人間ドック・一般検診とも受診者増、事後の保健指導についても大幅に実績を伸ばしたことは地域住民にとってもよかった。	A		16

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

事業年度評価（令和5年度）

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	県評価（案）の理由	項目 別の ページ
2 役割・機能の最適化と連携の強化											
(1) 病院の果たすべき役割・機能の充実・強化	S	A	S	A	S	S	S	①包括病床の運営が術後リハが中心である。他地域中核病院は、リハは他院へ紹介しているようだが、包括病床が増えて、連携強化につながっていない。 ③地域包括ケア病棟の開始を評価にどう位置づけるか。難しかったが中期目標の達成に向けて特筆した状況とはいえない。 ⑤新型コロナウイルス感染症5類移行後に、感染症の専用病棟としていた6階東病棟の地域包括ケア病棟への改修工事を実施し、地域包括ケア病棟（48床）の運用を開始するなど、積極的な機能強化をしているのは評価できる。	S		18
(2) 機能分化・連携強化	S	A	S	S	S	A	S	①同上 ③15頁の説明にとどまらず、中期目標ではクリティカルパスの整備普及が記載されており、そもそも十分な実績がある。 ⑤地域の医療機関と積極的なネットワーク構築をしている姿勢は良いと思うが、さらに地域の患者に対して病院のかかり方などを啓蒙するなどの活動を期待したい。	S		19
3 感染症対策の推進	B	A	B	B	B	B	B	⑤今後、新たな感染症の発現も予想されるので、感染症に対応できる地域の中核病院としての取り組みの強化をお願いしたい。	B		19
4 災害時における医療救護	A	A	A	A	A	A	A	⑤新たに、BCP・訓練・DMAT等の災害医療・危機管理を統括する専任職員を配置した「災害医療センター」を設置し、災害拠点病院として、ヘリポート運用開始準備、地域住民や関係機関と連携した災害医療訓練を実施しているのは心強い。	A		20
5 医師・看護師等の確保と働き方改革											
(1) 質の高い医療従事者の確保・養成	A	A	A	A	A	A	A	②B評価であったR4年度と実績はほとんど同じであるが、R5年度から「臨床研修看護師制度」を開始したことが評価される（R4年度とダブルカウントになっていないことが重要）。 ⑤新人看護師の看護技術習得環境の充実、人材育成計画・職種別キャリアラダーの運用により各職種において計画的な人材の育成が図られているのは素晴らしい	A		22

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

事業年度評価（令和5年度）

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	県評価（案）の理由	項目 別の ページ
(2) 医師の働き方改革への対応	B	B	B	B	B	B	B	②夜間ナースアシスタント数などのデータが無いため、評価が困難である。 ④鳴門病院が力を入れている特色ある医療の継続性に大きく関わるため、特に手の外科・形成外科の働き方の改善に取り組んでいただきたい。 ⑤年間の時間外労働が900時間を超える医師がいるということなので、さらなる働き方改革に取り組んでいただきたい。	B		24
(3) 看護専門学校の充実強化	A	A	A	A	A	S	A	⑤12年連続で看護師国家試験合格率100%を達成は誇るべき数字。ただ、県内就職率が下がっているのは気にかかる。	A		24
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置											
1 業務運営体制											
(1) 効果的な業務運営の推進	B	B	B	B	B	B	B	③外部要因等もあるだろうが、稼働病床利用率に鑑みれば、概ね順調とはいえないとも考えたが、総合評価した。 ⑤人事評価制度のアセスメントをしていただきたい。	B		25
(2) 職員の就労環境の向上	B	B	B	B	B	B	B	⑤離職率や平均勤続年数の推移などの数字を入れてもらえると、より評価が明確になるのではないかな。	B		26
2 業務運営方法											
(1) 収入の確保	B	B	B	C	B	C	B	②入院収益および外来収益はほぼ維持されているが、1日平均新規入院患者数、手術件数、平均在院日数や稼働病床利用率などが、目標値を下回っている。 ③中期目標の文言を踏まえると、Bとは到底言えない。 ⑤赤字の大きな要因は収入の確保ができていないことにある。補助金だのみではない収入の確保についての取組の強化が必要。	B		27
(2) 費用の抑制	B	B	B	B	B	B	B	②今後は、費用抑制がより重要性を増すと考えられる。 ③設定数値目標の達成は素晴らしいが、他の要素の判断が分からなかった。 ④SPDを運用開始されたことは評価できる。一層の経費削減に努めていただければと思います。 ⑤コストの軽減に共同購入などいろいろと取り組んでいることは評価できる。	B		28

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

事業年度評価（令和5年度）

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	県評価（案）の理由	項目 別の ページ
第3 予算、収支計画及び資金計画	C	B	C	D	C	C	C	②会議後に、これだけ大幅な修正はデータの信頼性を損なってしまう。 医業収益はR4よりも、約4億円増加しているが、空床補償料等が約10億円減少したことが、大きな要因となっている。 ③収支比率が各々10ポイント近い差があるのは重大な改善事項である ⑤やはり安定的な運営には利益が必要。利益が出ない要因について十分に検討と対策をお願いしたい。	C		30
第4 短期借入金の限度額	B	B	B	A	B	B	B	③中期目標、中期計画は完全に達成している。	B		34
第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画											
第6 剰余金の使途	B	B	B		B	B	B	③中期目標がなく判断できない。 ⑤エアコン、パソコン共に必需品であり、消耗品であるので、あらかじめ予算立てが望ましいと考える。	B		34
第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項											
1 施設及び設備に関する事項	B	B	B	B	B	B	B		B		36
2 デジタル化への対応											
(1) 情報システム等を活用した取組の推進	B	B	B	B	B	B	B	②R6年度は、マイナンバーカード利用実績等が期待される。 ③マイナ保険証の利用度などを考えると、Aとも考えた。 ⑤保険証がマイナンバーカードになることのメリットを最大限活かすように取り組みをお願いしたい。	B		37
(2) 情報セキュリティ対策の徹底	B	B	B	B	B	B	B	⑤今後、最も力を入れるべき分野の1つであるとする。	B		37
3 積立金の処分に係る計画											

	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	県評価（案）の理由
項目別検証を踏まえた全体についての評価	A	B	B	A	A	B	①病院実務に関しては、役割・機能共に順調に改善し進んでいる。財務、収入に関しては、コロナ感染症病床を包括ベッドへ変更し、一時ベッド数が少なくなり、影響が大きく、今後改善が見込まれると思われる。 ②COVID-19が感染症法上5類に移行し、空床補償料などの補助金が大きく削減される中、様々な努力により医業収益は増加している。しかし医業費用の増加がそれを上回ってしまい損失が拡大して、補助金減額分を全く補填できていない。全国の多くの公立病院・公的病院と同じ構図になっている。 今後、R6年度診療報酬改訂もマイナス要因になるため、収支は厳しい状況が続くことが予想される。 ③独法とはいえ、企業体である以上、収支比率の良否は勘案せざるを得ない。 ④地域医療の要として、事業の継続性が最も重要であり、そのためには従事している方々の確保をしていかなければならないかと思えます。働き方改革をより一層進めていただければと思います。 ⑤おおむね順調に計画を上回る実績を出していると考えますが、収支が悪化している点が気にかかる。昨年まではコロナの補助金があったためとのことだが、本来の診療業務による収入がかなり低下している。 ⑥中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいると思います。自己評価項目のB評価がA評価に達するように目標達成に向けて頑張ってくださいと思います。	B	